

平成23年度 第1回瀬戸市環境審議会議事録		
日 時	平成23年9月29日（火） 午前10時～10時35分	
場 所	瀬戸市役所 3階 全員協議会室	
出席者	審議会委員	委員2名（欠席：加藤昌委員、寺田聡委員）
	事務局	山田市民生活部長、山内環境課長、山内課長補佐、中村主事、青山主事
次 第	内 容	
1 開会	<ul style="list-style-type: none"> ・開会の挨拶 ・欠席委員の確認 	
事務局	・市民生活部長あいさつ。	
会 長	・あいさつ	
2 議事	以下のとおり。	
議事（1）	第2次瀬戸市環境基本計画の進捗状況について	
事務局	○資料の確認・説明	
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度答申した環境基本計画は、策定が出発点であり、本年度からは進行管理に移っていく。 ・進行管理の主体は、行政だけでなく、市民・事業者とも協力・連携をしていく必要がある。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムの設置補助制度を開始したことは評価する。 ・補助金額については、自治体によって差はあるが、財政状況も踏まえつつ、適正な金額を検証していくべきである。また、補助金を交付して完結するのではなく、対象者へのアンケート等を実施して、効果を検証することを提案する。 ・情報発信に関連して、以前、南山大学の学生が環境行政のポータルサイトを作成し、そのデータを環境課へ提供したが、その後の取扱いはどうなっているのか。 	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置補助対象者へのアンケート等の実施については、前向きに検討する。 ・ポータルサイトのデータは確かに提供を受けたが、残念ながら活用できていない。市ホームページが本年度からリニューアルされているため、それとの連携や外部サイトとのリンクについて、今後検討し、取り組んでいく。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページそのものへの掲載は、セキュリティの観点等から難しいのかもしれないが、今後の市民活動の状況等とも合わせて、積極的な活用を検討してほしい。 ・情報発信は常に新しいものを継続して発信し続けるという迅速性と継続性が重要である。大学の研究室では継続的かつ迅速にメンテナンスをしていくことが難しい。 	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置補助制度には、当初予算を大きく超える応募があったとのことだが、今後、対象からあふれた人への救済は検討しているのか。 	

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電を含め省エネルギーの推進については、今後、政府がテコ入れ策を実施することも十分に想定される。 ・本年度の予算補正は予定していないが、適正補助額についての検討も加えつつ、来年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料では条例名称が仮称となっているが、なぜか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、内部での検討段階にあり、条例の内容が最もよく表現されるものを仮称とした。内部での検討を終えた後、市民の方々の意見も聞きながら、条例名称は考えていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・条例案の策定作業について、審議会や委員が関わっていくことは予定しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・内部での検討を終え、条例の大枠について市長の了承が得られたら、市民の方々に意見を伺うことを予定している。審議会へ諮るということは予定していないが、案についての各委員の意見は伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ収集の有料化によって不法投棄が増えることを心配しており、自治会でもパトロールを実施している。 ・先日、晴丘センターへ見学に行き、ごみの収集や焼却・分別の状況を知ることができた。小中学生や一般市民にもそのような見学の機会を増やしていくと良いと感じた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では3～4年次に晴丘センターや下水処理施設、浄水場へ見学に行っている。各学校で基本的に実施している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現場を見ていただくことは重要だと考えており、昨年度3月には“晴丘まつり”と題して一般公開を行い、予想を上回る来場者があった。本年度は、環境塾の一環として同様に実施することを予定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量について啓発を続けていくことは簡単ではないが、子どもの教育だけでなく、一般成人への啓発も重要だと考える。環境塾でも啓発は実施しているが、関心のある人が申し込むものなので、関心を持たせていくということが重要です。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ収集の有料化は、ごみ処理にかかる経費について考えていただく良い機会だととらえている。1年近くもの準備期間を設けたが、市民からの問い合わせは減っておらず、機会を作ることができたという意味では一つの成果だといえる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「瀬戸しなの」での取り組みとして、野菜の地産地消に関するものはまだまだ少ないようにも思うが、これからどのように展開していくのか。循環型農業の展開はどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・産業課の所掌事項であるが、瀬戸市の農産物のブランド化について取り組んでおり、出荷額の最も大きい養豚業が主力になってはいるものの、耕作物に関する取り組みも今後進んでいくものと思われる。 ・循環型農業の取り組みについても、道の駅「瀬戸しなの」での食品残渣のたい肥化を含め、今後も展開していくものと考えている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻耕作地の面積が10年間でほぼ半減しており、野菜も激減している。基本計画では、環境面でも農地の重要性が高いことを確認しているが、環境課は、産業課と連携して取り組んでほしい。 ・ 今夏の節電について15%の削減ができたとのことであるが、高く評価する。市民・事業者にも周知し、参考にしてもらいたいと考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境配慮事業所認定制度について、どこの事業所が認定されているのかを消費者は知らないのではないか。消費者にアピールすることが重要だと考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市ホームページで掲載し、事業所には認定証を掲示することをお願いしているが、今後も幅広いアピールを検討していく。
議事(2) 議事(3)	<p>平成22年度 環境基本計画年次報告について</p> <p>平成23年度 環境基本計画年次報告書の作成について</p>
事務局	○資料の説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章のおかしい箇所があるので、訂正しておいてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害苦情の件数について、騒音や振動が増えていると考えるがどうか。測定値や走行している大型車の騒音について、生活環境の保全と企業の物作り・事業活動の観点から、どのように考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての調査地点で、道路交通騒音の要請限度は維持できている。環境基準を達成すべきではあるが、幹線交通を担う国道沿いなので、現在のところ特段の対応は考えていない。 ・ 来年度以降、県から権限移譲に伴い、国道周辺の騒音について面的な評価も行っていくので、それらの結果も参考にしていきたい。 ・ 感覚公害の比率の上昇は、悪臭苦情の増加が影響している。悪臭苦情の原因の多くは野焼きであり、農地での野焼きが、隣接する新興住宅地からの苦情の原因となっているというケースが増えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書が見やすくなった点は評価する。 ・ 下水道普及率について、整備区域・未整備区域の割合だけでなく、整備区域のうちの未接続件数や、未整備区域での単独浄化槽の設置件数なども把握して示すべきだと考える。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民参加によって報告書を作成する事例は比較的多い。パートナーシップによる取り組みとして、市民目線・事業者目線での記事や評価を掲載することが良いと考える。ぜひ検討してほしい。 ・ また、できるだけ早く時期に公表していくことが望ましい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね12月頃の公表に向けて、パートナーシップによる記事掲載も含めて、準備を進めている。 ・ 掲載する項目については、第2次環境基本計画の基本方針に沿って環境指標を掲載し、周辺データについても掲載していく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフとコメントを掲載した素案を市民に示したうえで、市民からの評価を記事として掲載していくという方法が良いと考える。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園区域内での無許可・無届行為には罰則があるのか。 ・定光寺地区では、比較的、伐採が進んでいるようにも思うが、問題はないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園法に違反して、許可や届出なく行為をする場合には、罰則の適用がある。 ・自然公園法上は、一応、支障のない形で手続きがなされている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東海自然歩道の利用者数についても掲載をしていくべきと考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・定光寺地区や岩屋堂地区の自然景観を訪れる観光客も多いが、駐車場は慢性的に少ない。多少の整備が進むことは、観光利用の促進にとっては良いことだと考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森センターでは、市や小中学校と連携した取り組みを進めていきたい。情報共有についても、積極的に行っていきたい。
3 その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告の公表時期の12月～1月に合わせて、次回の会議を行う予定である。